

## 第5回日立市新庁舎建設市民懇話会会議録

1. **開催日時** 平成24年8月21日(火) 午後1時30分～午後3時10分

2. **開催場所** 日立市役所 議会第1・第2会議室

### 3. 出席者

(1) 新庁舎建設市民懇話会委員

小柳委員(会長)、富樫委員(副会長)、秋山委員、志賀委員、金子委員、小室委員、佐々木委員、佐藤委員、柴田委員、白土委員、館岡委員、沼田委員、橋本委員  
以上13名(欠席 有賀委員、五来委員)

(2) 事務局

福地副市長、梶山総務部長、(庁舎建設準備室)岡部室長、佐藤室長補佐、助川係長、田村係長 以上6名

(3) 傍聴者

読売新聞、茨城新聞、日刊建設工業新聞、建設通信新聞  
以上4者

### 4. 会議資料

(1) 会議次第

(2) 第5回 新庁舎建設市民懇話会 資料1 日立市新庁舎建設基本計画(素案)

(3) 第5回 新庁舎建設市民懇話会 資料2 市民懇話会意見集

### 5. 会議内容

**会長:** この懇話会も、第5回で最終回となる。皆様の意見を伺って、より良い計画としたい。素案の目次では、5章立てのうち1～3章は、これまでの内容の整理なので、まず、この部分の説明を聴き、続いて4章と5章の説明を聴いて、皆さんの意見をいただきたい。

**事務局:** 資料の説明の前に、御礼を申し上げたい。これまで貴重な意見を頂いたものを参考として、基本計画をまとめた。この計画は、新庁舎の設計を行う際の仕様書として、市の考え方を示したものとなる。秋口には設計コンペの募集に入るが、基本設計がまとまる来年の今頃の時期に、改めてこの席上で報告を行いたいと考えている。

**事務局:(第1章から第3章について説明)**

**会長:** 第1章について、意見をいただきたい。

**委員:** 市の総合計画では「知恵と自然が響き合い、暮らしを明日につなぐまち」となっているが、庁舎は、そのような構想になっているのか伺いたい。

**事務局**：総合計画の中には、まちづくりを支える事業として、庁舎整備についても位置付けられており、最終的には、このキャッチコピーにもつながるものと考えている。

**委員**：敷地利用計画の中で、A案とB案では建物の高さが10mぐらい違う。日立のまちにふさわしい建物を考えた場合、8階が良いのか6階が良いのかという問題になってくると思うが、建ててみたら自然が何も見えないとなれば、少し問題になると思う。

**会長**：まちづくり計画の位置付けにも留意する必要があるということだと思う。では、第2章について、意見をいただきたい。

**委員**：国道6号から中に入ったところに建物が建つが、できるだけ歩く時間を短くしたり、障がいのある方に配慮された、使いやすい庁舎にしてほしい。例えば、路線バスが敷地内に入るような整備ができないのか、お聞きしたい。

**事務局**：来庁者の8～9割は、車で来ると想定しているが、公共交通機関を利用する方もいるので、庁舎の玄関前にバス停を設ける方向で調整をしたいと考えている。また、タクシールームも設置したいと考えている。

**会長**：他に意見がなければ、第3章までは確認いただいたということにしたい。次に、第4章の説明をお願いしたい。

#### **事務局：（第4章について説明）**

**会長**：第4章について、意見をいただきたい。

**委員**：設計段階では考えられていると思うが、集約された庁舎で多くの職員が働く場合に、診療所的なものはどのように配慮されているのか伺いたい。

**事務局**：庁舎内に医務室を設けることとしている。職員だけでなく、来庁者にも対応できるように、接地階に配置したいと考えている。

**委員**：最上階の議会事務局付近に市民ロビーとあるが、これはどのような施設か。

**事務局**：市民の方が、議会資料の閲覧などを自由に行える場所として、眺望を活かしたスペースを考えている。

**会長**：議会用の施設ではなく、一般に利用できる空間ということか。

**事務局**：そのように考えている。

**委員**：議会事務局を通っていくのか。

**事務局**：動線については、考えさせていただきたい。なお、階層構成イメージ図の矢印は、隣接または近接することが望ましい施設を表している。

**委員**：地下に防災備蓄倉庫を設けるということだが、職員の方は、大変でも年に何回か防災訓練を行い、どこに何があるかを把握しておく必要があると思う。受付案内の方も同じ。バリアフリーとユニバーサルデザインの視点で、東京や千葉、取手を見に行ったが、つくば市役所と同じような感じであった。いずれにしても、新庁舎は、本当の意味でのユニバーサルデザインの整備をお願いしたい。

**事務局**：新庁舎は、災害時における避難施設として活用することも考えられ、また、職員が泊り込んで対応する場合もあるので、全職員が共通理解のもとに使えるように訓練する必要がある

と考えている。施設や敷地のバリアフリーについても、十分に配慮し、設計段階ではもう少し細かく詰めていきたい。さらに、多くの市民が利用する1階と2階フロアについては、エスカレーターの設置を想定している。路線バスの市役所への乗り入れについても、バス事業者と調整を行っていきたい。

**会長：**大変重要な意見なので、十分に検討願いたい。

**委員：**多機能トイレは、自動で水が流れるようにすると使い勝手がよくなると思う。また、交通については、バス停やタクシープールに加えて、一般の車の送迎用スペースを設けると便利であると思う。

**事務局：**自動車動線については、国道6号から直接駐車場に入るのではなく、一度、市道を通ってから敷地内に入ることを考えている。敷地図の丸い部分が交通広場で、バスやタクシー、送迎用スペースを考えている。

**委員：**常陸多賀駅前広場では、ラウンドアバウト方式が採用されているが、改修に当たって、ロータリーの高さを低くして照明を付ければ、景観が良くなると提案した。新庁舎は、建物の高さが仮に6階だとしても、圧迫感がある。道路沿いの土手などに、ペイントで絵柄を書くなどの工夫をすれば、圧迫感がなくなるのではないか。

**事務局：**A案、B案、C案を考え方として示したが、いずれも国道6号から離れているので、東側の圧迫感はそれほどないと考えている。南側の市道は、歩行者の動線としては太くはないが、やや圧迫感が生じる可能性はある。和らげるような具体的な手法があれば検討したい。何階建てになるのかも含めて、コンペ案に沿って検討したい。

**委員：**1階にエスカレーターを設置するとのことだが、動く歩道の方が緊急時には良いのではないか。

**事務局：**エスカレーター的な機能という趣旨で申し上げたが、動く歩道についても、設計コンペの提案の中で求めたい。1階のロビーが広く取れば、急勾配にはならないと思う。

**委員：**隣接地には日影ができないのか。

**事務局：**基本的には隣接地に日影がかからないように設計するので、あまり北側に寄せることはできない。

**委員：**自動車の動線で、今でも、市道から国道へ出る右折レーンが込み合っている。これから駐車場が整備され、さらに、交通広場にバスが入ってくると、市道の幅が十分ではないと思う。市の敷地を狭めて道幅を広くすることは可能か。

**事務局：**ご意見の通り、庁舎敷地を狭めても、道路を北側に広げることが必要であると考えられる。この際、道路だけでなく、国道6号沿いのエントランス広場なども含め、敷地全体の利用について、設計コンペで提案をいただきたいと考えている。

**委員：**そのときに変則交差点も見直すということか。

**事務局：**それも含めて、提案していただくことを考えている。

**委員：**広場の使い方について、エントランス広場、多目的広場、さらには緑の軸線と、かなり特徴的な書き方がされているが、つくった後の管理では、難しい部分もあると思う。特に、国道沿いのエントランス広場において、商業施設の誘致などは、本当にできるのか。

**事務局**：市としての考え方を示したうえで、具体的な設計案の内容により判断したいと考えている。

**委員**：他の自治体でも、管理が行き届かない状態になっている例が見られる。初めは良いが、後で大変な負担が生じ、景観の維持が難しくなる場合がある。後で問題を出さないような広場のづくり方をお願いしたい。

**事務局**：この後、ライフサイクルコストの説明をさせていただきたいが、管理の部分を含めた、コスト面での提案内容も大事だと考えている。植栽は年々大きくなることも踏まえ、樹種の選定も含めて考えていきたい。植栽の管理コストと自然への配慮は、難しい部分がある。

**委員**：景観とコストとのバランスをとることが大事だと思う。

**委員**：車両棟の2階に基幹的な通信設備があるということだが、この建物自体は耐震性があるのか。

**事務局**：車両棟は、最終的には壊すことになっている。ただし、建物内にネットワーク回線が集中しているので、事前に建物を壊す場合は、仮設も含めてネットワークを2回移動するようになる。新庁舎の建設後に壊す場合は1回で済む。ネットワークの遮断は、期間的に3日くらいかかり、工事費も若干上がる。良いものができるのであれば、事前に壊すことも考えられる。

**委員**：いずれ壊すのであれば、良いものをつくるためには、このタイミングで壊すことも必要なのではないか。

**委員**：小さなところで節約すると、逆に、後で大きなお金がかかることもある。

**会長**：第4章では、医務室、市民ロビー、バリアフリーやエスカレーター、バス停や一般車の送迎スペース、景観への配慮、アプローチ道路の改良、施設の管理コスト等の意見があったが、以上でよいか。では、第5章の説明をお願いしたい。

#### **事務局：(第5章について説明)**

**会長**：第5章は、ライフサイクルコストと事業スケジュールの2点だが、意見をいただきたい。

**会長**：第5章については、特に意見は無いということでよいか。では、本日の議題は、以上で終わりとしたいが、最後に、皆さんから一言ずつお願いしたい。

**委員**：知恵と自然を生かした、響きのある建物を期待したい。

**委員**：防災拠点としての機能をきちんとつくっていただきたい。

**委員**：かけるところにはお金をかけて、将来の見通しをもってつくってほしい。また、視覚障害者用の誘導ブロックと音声案内装置を整備してほしい。特に、一般市民が多く利用する1～2階には、できるだけ点字ブロックを設置していただきたい。

**委員**：道路については、駐車場が分散して出入口が複雑になるので、渋滞にならないように配慮してほしい。

**委員**：市役所は、最終的に市民の拠り所となるので、がんばっていただきたい。

**委員**：懇話会には、5人の女性が参加させていただいたが、事務局に女性の職員がいないのが残念。職員アンケートで女性の声も反映されているということだが、ぜひ、女性の意見を取り入れて、すばらしい庁舎をつくってほしい。

**委員**：防災関係を重点的にやって頂きたい。また、高齢化社会に対応した優しい市役所になってほしい。

**委員**：未来に向けて、日立市が活性化するための庁舎をつくって頂きたい。何年間かは建設費用がかかると思うが、そこでクリエイティブなまちづくりやものづくりをすることで、新たな人材が育つことに期待している。

**委員**：利便性やコストは、これからも十分に検討すると思うので安心している。建物は、どうしても陳腐化するので、バブルの時には奇抜なデザインの区役所もあったが、使えば使うほど味が出てくるような建物となるように期待したい。

**委員**：これまでの意見が盛り込まれており、素案には満足している。日立らしいデザインというのは難しいが、すばらしいデザインにしていただきたい。日立駅が新しい顔となっているが、これと関連するようになれば良いと思う。また、庁舎から駐車場までの距離があるので、歩行者動線に屋根を設置すると良いと思う。

**委員**：今までの意見を、十分に素案に反映していただいたと思う。全体の計画が決まれば、また市民の立場として一度見てみたいと思う。日立市は、人口は県内で3番目だが、住みやすさや教育など、総合評価ではトップの市であると自認している。オーソドックスで、普遍性のある建物にしていきたい。

**副会長**：各委員の意見が十分に取り入れられており、また、先進的な取り組みもあって、すばらしい庁舎ができることを確信した。ぜひ、すばらしいものをつくっていただきたい。

**会長**：庁舎は、市民の使い勝手、そして業務をする人の使い勝手、これが一番大事だと思う。そこから、良い場所ということで皆さんが誇りに思っていけば、顔になるのではないかと思う。奇抜なデザインで顔をつくるのではなく、機能や使い勝手を優先しながらデザインを考えると、良いものになっていくと思う。これで、議事は終了したが、その他について事務局から説明願いたい。

**事務局**：基本計画は、今後、詳細な部分を詰めて、9月中に整理し、10月初旬に配布をさせていただきます。また、市民懇話会は、本日で一応終了となるが、今後の設計段階も含め、最後まで見届けていただければと考えている。後日、個別に意向を伺いたい。

**会長**：すべての議事が終了した。ご協力に感謝する。事務局に進行をお願いしたい。

**事務局**：最後に、市を代表して副市長からお礼を申し上げたい。

**副市長**：本日で、市民懇話会が一区切りとなるので、ご挨拶をさせていただきます。委員の皆様には、5回の委員会の中で、各分野の視点から新しい庁舎の機能について多くの意見を頂きまして、誠にありがとうございました。皆様からいただいたご意見を基本計画に反映することで、より市民の目線に立った、使いやすく、風通しの良い新庁舎の建設を推進してまいりたいと考えております。先ほど、バリアフリーの話も出ましたが、庁舎の建設とあわせて、職員の意識も変えていく必要があると考えております。それが「知恵と自然が響き合い」と言う総合計画の理念にもつながっていくものと考えております。先ほど、事務局から案内がありましたよう

に、設計の段階においても、基本計画の考え方が反映されているかなど、再度皆様からご意見を頂きたいと考えておりますので、その節は、何卒ご協力をお願いします。最後になりますが、小柳会長、富樫副会長をはじめ、委員の皆様には熱心なご議論を頂き、懇話会を有意義に開催できましたことを、感謝を申し上げまして、私からのあいさつとさせていただきます。ありがとうございました。

**事務局**：最後に、会長からあいさつをお願いします。

**会長**：皆様のご協力により、すばらしい素案ができたと思っています。これからも、市民が参画する場があると思いますが、皆様の意見をぜひ、活かしていただきたい。今回は、大震災により庁舎が被害を受けたということで、耐震性や災害対応などが大きな話題となりましたが、それは当然備えるべき基本的な機能だとも思います。日ごろから市民が使いやすい機能、職員が使いやすい機能が備わっていれば、自然とそのような機能も備わると思います。この基本的な機能を活かしつつ、訪れた人に良い庁舎だと感じてもらえる庁舎を、ぜひ考えていただきたい。簡単ですが、あいさつとさせていただきます。ありがとうございました。

以 上